

2024 年度 活動報告と実績

2024 年度は、三段峡ビジターセンター LOUPE の本格的な運営を開始し、カフェ営業を収益の柱と位置づけるなど、事業の自立と組織の継続性確立に向けた重要な一歩を踏み出した一年となりました。また、来る 2025 年の三段峡名勝指定 100 周年に向けた準備を本格的に進め、様々な活動を通じて三段峡の魅力と価値の発信に努めました。

■ 三段峡ビジターセンター LOUPE 運営

4 月より本格運営をスタートした三段峡ビジターセンター LOUPE では、カフェと展示を中心に、多くの来訪者をお迎えしました。宇治園製茶と協力した日本茶メニューの導入や、「見浦牛セイロ」などを提供しました。

アロヒフィッシュスタジオの協力による水槽展示の刷新やオオサンショウウオの企画展示など、学びの要素を充実させました。

■ 環境保全・研究活動

太田川流域の貴重生物の調査・保全活動に継続して取り組みました。

・オオサンショウウオの食性調査では、アユの捕食が少ないことや、産卵巣穴の発見、三段峡内でのカワネズミの初確認など、新たな成果が得られました。

・ヤマセミ保全活動では、生態紙芝居を製作し、軽量化した人工巣穴の再設置を行いました。

新しく、ゴミ保全啓発活動や、「保全生態学会夏の学校」の共催、博物館ネットワークの構築に向けた取り組みに参加し、生物多様性の保全活動を多角的に進めました。

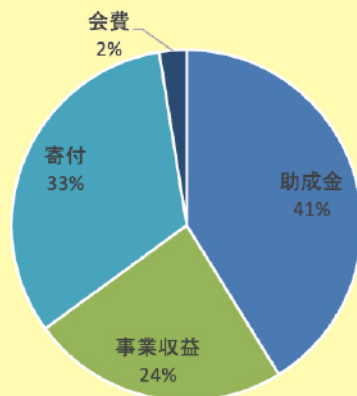
■ 地域連携と人材育成

地域の学校や団体、企業と協力し、子どもから大学生、社会人までを対象とした自然体験や研修を実施しました。さんけん自然塾では、子ども向けイベントやキャンプを展開し、若い世代が企画・運営に関わる機会も提供。学生ボランティアとは多言語対応やガイド活動に取り組み、実践力を育成しました。地元企業との連携による支援やツアー企画も進めています。

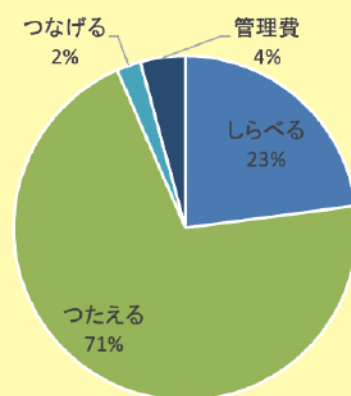
■ 観光・体験プログラムの推進

三段峡の自然を活かした体験プログラムを多数実施しました。シャワークライミングやアドベンチャートレッキングは、参加者・視察者から好評を得ました。台湾からの観光客向けに溪流釣りや雪の三段峡を楽しむツアーも実施し、新たな来訪層の開拓にも挑戦しました。探勝路の清掃活動など、環境保全と観光の両立を目指した取り組みも行いました。

2024 年度経営収益
経営収益合計 16,372,508 円



2024 年度経営費用
経営費用合計 16,617,188 円



しらべる

三段峡を体験と学びの野外博物館へ

景色を眺める観光地から、自然や歴史文化の調査・研究によって、野外博物館として三段峡の新しい価値を生み出しています。

- 太田川の魚類調査
 - 三段峡の植物のモニタリング調査と盗掘からの保護活動
 - ヤマセミの保全啓発活動
 - オオサンショウウオの生息、食性調査
- 株式会社マイクロン・テクノロジー様よりご寄付を頂き、川の生き物調査や三段峡ビジターセンター LOUPE での生態展示に活用させて頂きました



2024 年度

3311

調査・保全活動
参加者

2023 年度

287

つたえる

子ども同士が学び合う、さんけん自然塾

調査・研究を基にして、それぞれの世代が学び合いながら成長できる場をつくり、地域の自然を守るリーダーを育てています。

- 中学生が講師を務める自然塾の実施
 - 観察会や講演会の実施
 - 小学校への環境学習プログラムの提供
 - 三段峡ビジターセンター LOUPE の運営
- 株式会社リコー様よりご寄付を頂き、パネル展示や DIY の費用に使わせて頂きました



2024 年度

1061

環境教育プログラム
参加者

2023 年度

2905

つなげる

都市と里山を川でつなげる

生み出された三段峡の新しい価値を、多様な組織や個人と協力して活用し、「豊か」が持続する太田川流域社会を目指しています。

- 広大さんけん部
- あきおおたの楽しい 100 人の開催
- ファシリテーションの普及
- エコツーリズム推進の取り組み



2024 年度

60

共同事業をした
パートナー

2023 年度

41